



緑萌ゆ

新宮小・中学校長だより 2024.2.5

Pay forward 恩送り

先日の全校朝会で次のような話をしました。

最近、本を読んでいて、いい言葉だなと思った言葉があったので紹介します。英語なのですが、「Pay forward」あるいは「Pay it forward」という言葉です。

「ペイ」は、お金などを支払うというときの「払う」という意味です。〇〇ペイというのを聞いたことがあると思います。「フォワード」は、これから「先の」とか、「前の」という意味です。サッカーでは、自軍の前の方で攻撃する人の事を「フォワード」と言いますね。直訳すると、「先で払う」といった意味になります。近い意味の日本語で「恩送り」という言葉があります。この言葉もあまり聞いたことがないかもしれません。恩返しという言葉は聞いたことがありますね。

「鶴の恩返し」では、助けてもらった鶴が、助けてくれた人に自分の羽を織り込んで織物を作っていました。助けられた人が、助けてくれた人に恩を返すわけです。恩返しは、二人で完結します。

一方、ペイフォワードは、助けてくれた人ではなく、別の人に恩を送っていくという事です。場合によっては、恩を受けた人にお返しできない場合がありますね。例えば、旅行先で体調を崩して現地の人に親切にしてもらったとします。その人にお返しはできないけれども、今度は自分が近所や市内で旅行者が困っている場面に出会ったら親切にしたいと思います。これが恩送りです。その人はきっと、一人にお返ししたから終わりとはならないでしょう。二人三人と広がっていきます。恩返しも素晴らしいことですが、恩おくりは、次の人が、また次の人へと連鎖していく事になります。とても広がりが出ますね。たくさんの方が関わってきます。そうして、それがいつか自分に返ってくることもあると思います。「情けは人の為ならず」という言葉もあります。先輩に優しくしてもらった。その恩をその先輩に返すのも大事ですが実際には難しく、それを後輩に送っていく。それが「Pay forward(恩送り)」です。これは、何も誰かから恩を受けてからスタートする必要はありませんね。自分スタートで、この輪を作っていくと、みんなが住みよい社会、学校、学級になると思います。そんな、新宮小・中学校であってほしいと願っています。今日は「Pay forward(恩送り)」を紹介しました。

